

# 第48回 鹿児島県中学校バレーボール大会 大会開催に向けてのガイドライン

## 1 大会期間

令和4年5月21日（土）～23日（月）

## 2 試合会場およびコート

- (1) 原則、1会場につき1コートまでの設営とする。ただし、体育館の規模によってはその限りではない。
- (2) 日差しの影響がない場合は、原則カーテンを開けて試合を行い、換気を十分に行うこと。  
また、試合中の換気ができない場合は、セット間や試合間を利用して必ずカーテンを開けて換気すること。
- (3) 会場校は、更衣スペースにゆとりをもたせる工夫をし、更衣室も換気ができるようにすること。  
(一度の入室制限、チームの入れ替え等)  
また、更衣室の消毒は使用したチームが責任を持って行えるようにアルコール等の準備をしておくこと。
- (4) 冷水機の貸し出しは、体調不良を除き原則禁止とし、飲用水は各チームで準備すること。
- (5) 会場校から使用や立ち入りを許可された場所以外の使用は一切禁止とする。

## 3 大会の参加について

- (1) 大会参加チームは、このガイドラインに則して大会に参加し、感染症対策事項や熱中症予防、各会場校のルールを遵守し、率先して協力すること。また、これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場等を求めることがある。
- (2) 各チームにおいて、大会参加についての保護者の同意を得ること。同意書（様式1）は顧問が保管すること。
- (3) 参加生徒は健康チェックシート（様式2）で大会2週間前（5月7日）から体調チェックを行う。  
健康チェックシートは顧問で管理し、必要な場合に提出できるようにしておく。
- (4) 大会当日の必要書類  
・**体調確認書（選手・スタッフ）・ID印刷（選手・スタッフ）・体調確認書（保護者等）・ID印刷（保護者等）**  
入館は、試合ごとにチームの入替を行う。その際、それぞれ体調確認書（様式3）に当日の健康状態を記入し、大会役員によってIDカードと照合した上で入館を認める。体調確認書（選手・スタッフ）・体調確認書（保護者等）は試合日ごとに提出となるので、受付時に毎日提出する。IDはそれぞれのチームでカードケースを準備し、作成する。
- (5) チームにコロナウイルス感染者・濃厚接触者が判明した場合の対応については、以下の状況で判断する。

### **選手・チームスタッフ個人への対応**

<大会前>

- ① 大会前2週間以内に感染が判明した場合  
「**保健所および学校長の判断**により参加を認められる」ことが確認できなければ  
ア その期間における当該部員及び当該チームスタッフの出場は認めない。  
「**保健所および学校長の判断**により参加を認められる」ことが確認できれば  
イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。
- ② 大会前に濃厚接触者と認定された場合  
「**保健所および学校長の判断**により参加を認められる」ことが確認できなければ  
ア その期間における当該部員及び当該チームスタッフの出場は認めない。  
「**保健所および学校長の判断**により参加を認められる」ことが確認できれば  
イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。

<大会当日>

- ③ 大会当日に発熱等の体調不良がみられる場合  
ア その日の大会参加は認めない。試合の観戦や応援も認めない。  
イ チームは保護者に連絡を取り、帰宅させること。また、必要に応じて学校管理職にも報告すること。

<大会期間中>

- ④ 大会期間中に感染や濃厚接触が確認された場合  
上記①, ②を適用する。

※ 該当チームは県中体連専門委員長（伊敷台中学校 今藤隆浩 Tel090 - 4595 - 1605）に確実に連絡すること。専門委員長は保健所に報告して指示を仰ぎ、会場校や対戦相手にも連絡する。その後、チーム責任者や学校管理職と協議した上で、対応の決定を行う。

<大会後>

- ⑤ 大会後に感染が判明した場合

ア 大会後に感染が判明した場合、該当チームは県中体連専門委員長に確実に連絡すること。

イ 県中体連専門委員長は、保健所に報告し指示をあおぐ。また、会場校や対戦相手にも情報を共有し、チーム責任者は、学校管理職に相談し、その後の対応を協議すること。

### チームへの対応

<上記の「個人への対応」の全対応項目と合わせた「チームへの対応」>

※ 上記 ①, ②を適用する。

<学校が臨時休校や学級閉鎖等の措置をとっている場合>

- ⑥ 臨時休校が大会期間中にかかる場合は、原則として参加不可とする。

学校の一部が休校の場合（学級・学年閉鎖等）は、大会への参加は保健所および学校長の判断に従うこと。（特に、感染拡大防止の観点で判断すること。）

※ チームへの対応は、学校によって判断が異なることが懸念されるが、事前にチームにその対応方法について周知しておくこと。

## 4 試合運営について

- (1) 試合会場の設定（※原則1会場につき、1コートの設営とするが、体育館の規模によっては、2コートまたは3コートの設営もある。）

① 初日の会場は、右表の□囲みの4～8チームで1会場設定を基本とする。

② 上記の対応ができない場合は、4分の1ゾーンまたは8分の1で、1会場とする。その際、試合の設定時間およびチームが会場に入る時間等を工夫し、密集を防ぐ手だてを行う。

③ 閉会式は行わない。表彰については、コート表彰とする。

- (2) 試合時間の設定

① 各セット間は、換気および給水を十分に行う。

② 試合間は最低20分以上とる。アップの時間を含めて最大30分まで設定できることとする。

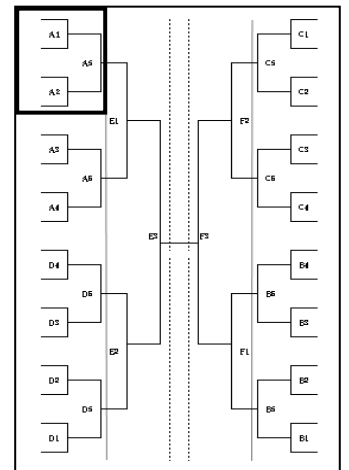
③ 試合設定時間（試合開始時刻）、チームの入館時間を設ける。

（大会1日目）

- |       |                 |      |                 |
|-------|-----------------|------|-----------------|
| ・第1試合 | 9:00（入館 8:00）   | 第2試合 | 10:10（入館 9:10）  |
| 第3試合  | 11:20（入館 10:20） | 第4試合 | 12:30（入館 11:30） |
| 第5試合  | 13:40（入館 12:40） | 第6試合 | 14:50（入館 13:50） |
| 第7試合  | 16:00（入館 15:00） |      |                 |

（大会2日目・男子）

- |       |                 |      |                       |
|-------|-----------------|------|-----------------------|
| ・第1試合 | 9:30（入館 8:30）   | 第2試合 | 10:50（入館 9:50）        |
| 第3試合  | 12:10（入館 11:10） | 第4試合 | 決勝戦については第3試合終了後に設定する。 |



((大会1日目・2日目・女子))

- ・第1試合 9:30 (入館 8:30) 第2試合 10:40 (入館 9:40)
- 第3試合 11:50 (入館 10:50) 第4試合 13:00 (入館 12:00)
- 第5試合 14:10 (入館 13:10) 第6試合 15:20 (入館 14:20)

((大会3日目・女子))

- ・第1試合 9:30 (入館 8:30) 第2試合 10:50 (入館 9:50)
- 第3試合 12:10 (入館 11:10) 第4試合 決勝戦については第3試合終了後に設定する。

- ④ 開館後、第1試合目のチームのみフロアへの入場を許可する。(時刻は、館内放送で連絡する。)
- ⑤ 次試合のチームは、前試合開始後、体育館の空きスペースでアップ等するために入場してもよい。  
(ただし、ボールの使用は不可)
- ⑥ 設定時間前に試合の開始はしない。試合進行の追い込みが必要な場合は、最低20分の試合間をとり、換気やけが予防のためのアップができる時間をとる。  
(前試合終了のゲームセットのハンドシグナルが出された20分後に次の試合のプロトコールを開始する。)

### (3) コートオフィシャルについて

- ① 男子のコートオフィシャルについては、第1試合は、第2試合のチームで行う。(プロトコール10分前に入場し、集合を完了する。)その後は敗退チームが行う。決勝戦については、準決勝敗退2チームで行う。

女子のコートオフィシャルについては、1日目(1会場に8チームの会場)、2日目は、第1試合は、第2試合のチームで行う。第2試合は、第1試合の敗退チームで行う。第3試合は、第2試合の敗退チームで行う。第4試合は、第5試合のチームで行う。第5試合は、第4試合の敗退チームで行う。第6試合は、第5試合の敗退チームで行う。1日目(1会場に7チームの会場)は、第1試合は、シードチームで行う。第2試合は、第1試合の敗退チームで行う。第3試合は、第4試合のチームで行う。第4試合は、第3試合の敗退チームで行う。第5試合は、第4試合の敗退チームで行う。

3日目は、第1試合は、第2試合のチームで行う。その後は敗退チームが行う。決勝戦については、準決勝敗退2チームで行う。

- ② コートオフィシャルの来場は、必要最小限の人数であれば入館時間前に入場を許可する。
- ③ コートオフィシャルの人数は、ラインジャッジ4名、点示員2名、記録員2名、ボールリトリーバー2名の計10名とする。(試合を4ボールシステムで行うために、ボールリトリーバーを配置する。  
決勝戦については、点示員を4名とし、計12名とする。準決勝敗退2チームで、6名ずつ配置する。)
- ④ 記録員は、筆記用具を持参すること。
- ⑤ チームは試合球を2個準備しておくこと。

## 5 応援・観戦について

- (1) 応援・観戦は、保護者(選手の両親・祖父母・兄弟姉妹)のみとし、卒業生等の応援・観戦は不可とする。  
なお、保護者等の入場は試合開始10分前とし、入館の際は、体調確認書(保護者等)とIDカードを確認した上で入館を認める。(保護者等についてもIDカードを使用する。大会本部で作成用データを提供し、チームで作成する。)
- (2) ベンチに入らないチームスタッフ(当該チームの教職員に限る)については、体調確認書とIDカードを確認した上で入館を認める。入館は、チームの入館に合わせる。
- (3) 応援方法は拍手のみとし、ペットボトル、鳴り物等は禁止とする。(アップゾーンでも同様とする。)
- (4) 3日間とも体育館内および体育館外周辺でのチームの場所取りはできない。ただし昼食については体育館外にチームで場所を決めて短時間で食事をするのは構わない。(大会当日、天候により、昼食場所の確保が困難と判断した場合、大会本部より、昼食や待機場所についての連絡を行うこともある。)

※ 保護者が体育館周辺でシートを敷いてお茶を飲んだりすることはご遠慮ください。リモートでの試合中継を集団で観戦することもお控えください。

- (5) 観戦者の人数制限については、1日目は、1チームにつき最大3名とする。2日目、3日目は、1チームにつき最大10名とする。

**※ 大会ガイドラインの詳細及び観客の動員は、県内の新型コロナウイルス感染状況に合わせて変わることがあるので、事前に県協会 HP や MRS でのメール一斉送信の確認を必ず行うようにする。**

## 6 全体注意事項

- (1) 試合中以外はマスクの着用を確実にすること。
- (2) チームスタッフ・選手は、試合中にベンチで適切な距離を確保し、マスクを着用すること。ベンチに配置する椅子は、間隔を空けて5脚置くこととする。
- (3) 試合前にハドル（円陣）を組む際に肩を組むことやチーム全員で合唱すること、ハイタッチをすること等は、控えるように指導する。（試合中に自然発生的にハイタッチをする場合を除く。）
- (4) アップゾーンの選手はマスクを着用すること。
- (5) コートオフィシャルも必ずマスクを着用する。
- (6) 体育館の空きコートでのストレッチや、更衣室を使用する際には、マスクを着用する。（勝ち残りチームの待機時もマスクを着用すること。）
- (7) 体育館の空きコートの使用については、ボールを使用しないウォーミングアップのみとする。ベンチ入り以外の選手も使用できるが、プロトコール開始時には、観客席に移動すること。
- (8) 生徒が体育館に入館した後、フロア内の密を避けるために、登録選手18名以外の生徒に対して体育館2階への移動を促すなど、競技役員でフロア内の人数調整を行うことがある。
- (9) チームは消毒液（アルコール等）を準備し、入場の際や試合中のベンチ、更衣室等の使用場所を消毒すること。
- (10) 試合後の相手チームへの挨拶（ベンチや応援席）は行わない。自チームの応援席への挨拶は、その日の最後のゲームの時のみとする。試合後は、速やかにコートを開ける。
- (11) 試合に敗退したチームが次試合の生徒役員をする際に、部員数が少なく、生徒役員が不足する場合は、試合を行うチームのベンチに入らない生徒、または、試合のない他のチームに生徒役員をお願いすることがある。感染症対策の観点から、保護者等による生徒役員は認めない。
- (12) 試合のビデオ撮影は許可する。（試合をしているチームのみ認める。）
- (13) 大会直前に選手が体調不良等によってチームが棄権せざるを得ない場合を除いて、保護者の参加同意が得られない等の理由でチームが棄権を申し出る場合、大会5日前までに大会本部、対戦チームへ連絡すること。（大会本部は、試合順の繰り上げ等を検討し、変更する際は、該当チームのパート全チームに連絡をする。）  
※ 棄権チームの大会結果への掲載は、「棄権」とだけ記載し、点数は記録しない。
- (14) 男子の中学校会場の保護者の駐車台数は、1チーム5台までとする。（それ以上は、近隣の駐車場を利用する）
- (15) **政府や都道府県から新型コロナウイルス感染症に関する新たな措置（緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等）が発出された場合は本大会を中止する場合がある。**  
**また、不可抗力により、出場チームから辞退が発生した際は、大会参加チーム数（男女合わせて）10%以上に至った場合のみ、大会主催者にて大会中止を検討し、中止可否を決定後、速やかに参加チームに通知する。**
- (16) 指導者は、バレーボール指導中における体罰・暴言の根絶及び大会中のマナー・モラルの向上に努める。

< 大会ガイドラインに関する問合せ先 >

鹿児島県中体連バレーボール専門委員長 今藤 隆浩（伊敷台中学校）

Tel.090 - 4595 - 1605